

Q 就任当初に掲げた公約の実施状況について伺います。

A 按田町長 就任以来、町民の安心と安全を第一に、町民目線の町政を執行してまいりました。第5次豊頃町まちづくり総合計画を主軸に、理事者・職員とともに地に足の着いた行政運営を続けています。

就任当初は、新型コロナウイルス感染症が爆発的に流行し、町政を行う上で様々な制約がありました。私の仕事は、新型コロナウイルスの接種体制の整備から始まり、また、就任した年の10月に豊頃町立豊頃病院の医師が退任することとなり、医療提供体制の構築は喫緊の課題でした。一般社団法人地域医療振興協会を指定管理者に指定することで、安定した医療体制の構築を図りました。

そのほか、豊頃中学校の改築に取り組みました。改築は就任前から決まっていたのですが、遅滞なく工事を進め、令和6年の春に小中併設校舎の開校を迎えました。そして、ライフワークとも言える

公約の実施状況は

防災対策に重点的に取り組みました。日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への対策として、防災部門の組織再編、地域防災計画の見直しを行いました。また、津波緊急避難路の整備や津波避難訓練などを実施しました。また、降雨災害に備えるため、河川改修について関係機関との協議を進めています。



大津地域津波緊急避難場所避難路（道道側入口）

Q 達成率はどのくらいですか。

A 按田町長 十分に活動できなかった期間が長く、その場での対応を求められる場面もありましたが、8割程度は当初の思いを達成できたのではないかと思います。

町政 今後の課題は

Q 町政の今後の課題について町長に伺います。

A 按田町長 商業では、この3年間で数店舗が閉店し、厳しい評価であります。

また、町民の足であるコミュニティバスについては、今後の発展のために先進地を視察しましたが、具体的な改善まで至りませんでした。

そして、農林水産業、建設業における担い手・労働力不足は喫緊の課題であると言えます。

何より一番の課題は人口減少問題です。私の在任期間中、本町の人口が3,000人を下回ったことは非常に衝撃的な出来事でした。

人口減少率を少しでも緩やかにするためには、外から人を呼び込む施策と転出する方を減らす施策が大切であると考えます。

人口減少を食い止めるべく、町、町議会、関係団体、そして町民の皆さんとともに知恵を出し合って、一丸となって課題解決に取り組まなければならないと思っています。

出馬の意向は

Q 次期町長選への出馬の意思について伺います。

A 按田町長 去る11月28日に後援会から次期町長選への出馬について要請がありました。

1期4年、理事者・職員とともに良きも悪しきも経験し、実績を積み重ねてまいりました。

一町の抱える課題を具体化し、解決へと導き、持続可能な町として豊頃町を更なる次元に引き上げる。

その役目を再び務めさせていただけるならば、しっかりとこの身を尽くしてまいりたいとの決意をこの場で表明させていただきます。



出馬の意向を固める按田町長

No.121

2025年2月
北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集

とよころ 議会だより 12月定例会

次期町長選 按田町長が出馬を表明

藤田議員が按田町政1期目のまちづくりを問う！

12月定例会あらまし

令和6年第4回定例会は、12月12日に開会しました。

12日 1日目は、補正予算など13件の議案審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

審議内容は、5ページから掲載しています。

17日 2日目の一般質問では、3名の議員が登壇し、5項目について町長らと論戦を交わしました。

まずは、一般質問のようすからお伝えします。

Q 町政 今後の課題は

A 人口減少対策に取り組む

按田町長は令和3年4月の豊頃町長選挙で初当選されました。

就任当初は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、普段の生活がままならない時期でした。

就任から3年数か月が過ぎた

今、按田町政1期4年間のまち

づくりの総括と

今後の町政の課題について伺

います。



藤田 博規 議員